

## <学習内容>

- ▶ 満州事変
- ▶ 力をつける軍部
- ▶ 孤立していく日本
- ▶ 日中戦争と抗日民族統一戦線
- ▶ 国民の戦争動員

## 満州事変 ①

### ■日本の不況

第一次世界大戦後の日本は**関東大震災**（1923年）などに見舞われ、不況であった。さらに1929年の世界恐慌によって大きな打撃を受けた。



▲関東大震災



▲銀行の取り付け騒ぎ

## 満州事変 ②

### ■ 満州事変

- ① 1920年代, 中国で日本から満州の権益を取り戻そうとする動きが起こる。
- ② 1931年, 日本軍は南満州鉄道を爆破し, それを機に満州全体を占領した (満州事変)。
- ③ 1932年, 日本軍は, 清の最後の皇帝・溥儀<sup>ふぎ</sup>を元首とする満州国を建国した。



▲満州国の範囲

# 満州事変

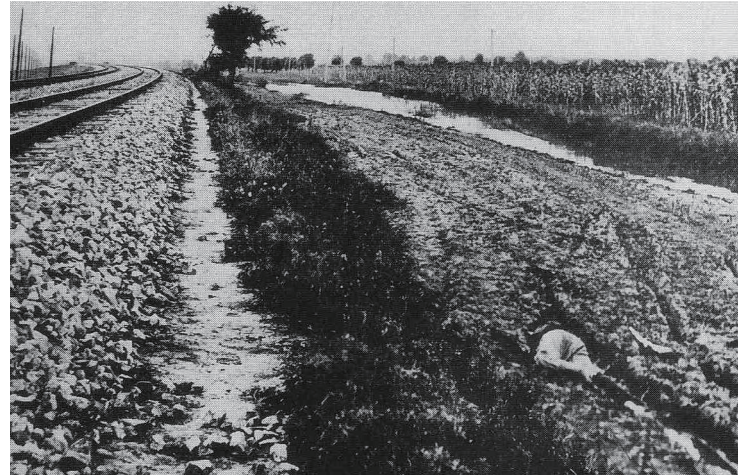
## ① 満州の権益



▲炭鉱の経営



## ② 満州事変



▲爆破現場



## ② 満州事変



▲中国軍の武器



## ② 満州事変



▲進軍する日本軍



## ③ 満州国建国



▲溥儀

## 力をつける軍部 ①

### ■政党政治の終わり

1932年5月15日、満州国の承認に反対する態度をとっていた  
いぬかいつよし  
犬養毅首相が海軍の青年将校に殺された（**五・一五事件**）。

⇒これ以後、政党の党首が首相にならず、軍人出身の内閣が多くなって政党政治がとだえた。

### ※政党政治

選挙によって国民の意見を政策に反映し、国会の運営も政党を中心として行う政治のしくみ。



▲五・一五事件を報じる新聞記事

## 力をつける軍部 ②

### ■強まる軍部の力

1936年2月26日、陸軍の青年将校が政治改革をおこなおうとして、首相官邸や警視庁などを攻撃した(二・二六事件)。

⇒これ以後、軍部は政治的な発言力を強めた。



▲青年将校たち



▲永田町一帯を占領する兵士

# 孤立していく日本

## ■日本の国際連盟脱退

満州事変後，国際連盟は満州国を承認しなかった。

⇒日本はこれに反発し，国際連盟から脱退した（1933年）。



▲リットン調査団



▲国連脱退を報じる新聞記事

## 一問一答

次の問いに答えなさい。

関東軍が南満州鉄道を爆破した柳条湖<sup>りゅうじょうこ</sup>事件をきっかけに、満州全体を占領した出来事をなんというか。

満州事変



## 入試問題（平成 25 年度 神奈川県公立高校入試問題・改）

二・二六事件について説明した文として適切なものをア～エから一つ選びなさい。

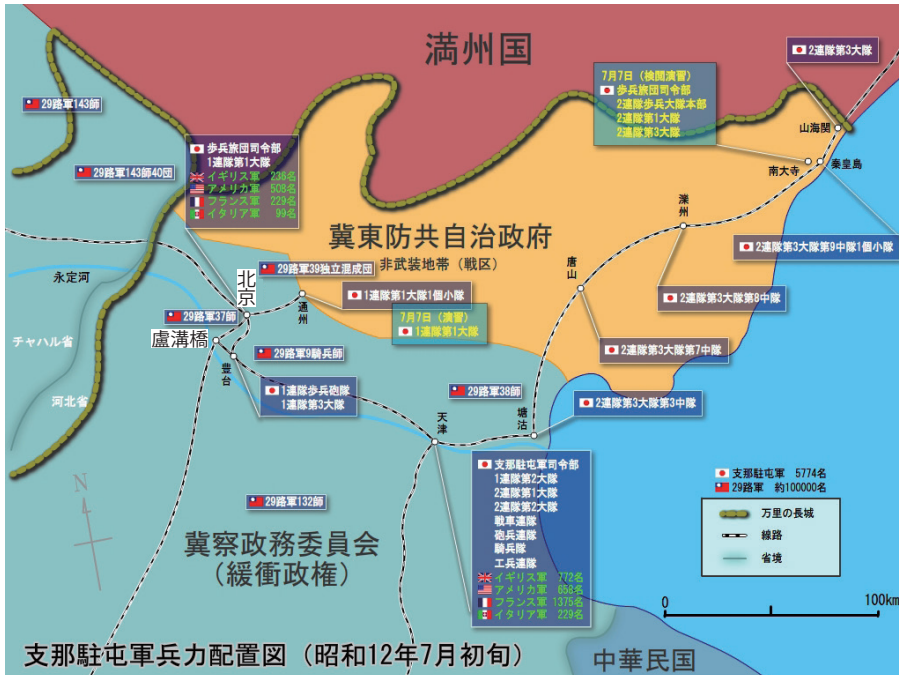
- ア. この事件によって、護憲運動から続いてきた政党政治は幕を閉じた。
- イ. この事件をきっかけに、日中両国軍が衝突し、日中戦争が始まった。
- ウ. この事件が伝えられると、米の安売りを求める運動が全国に広まった。
- エ. この事件以後、軍部に政治への発言力がいっそう強まった。

エ

# 日中戦争と抗日民族統一戦線

## ■日中戦争

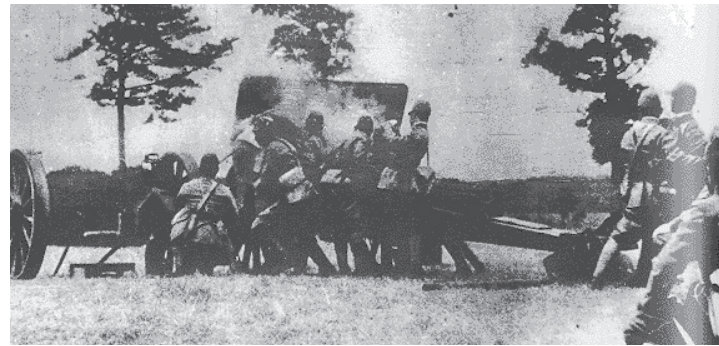
1937年、北京郊外の盧溝橋付近で起きた日中両軍の衝突(盧溝橋事件)をきっかけにして、日中戦争が始まった。



### ▲北京周辺の地図



中国軍  
◀ 盧溝橋を守る



◀ 盧溝橋を攻撃  
する日本軍

# 日中戦争と抗日民族統一戦線

## ■抗日民族統一戦線

日中戦争が始まると、<sup>もうたくとう</sup>毛沢東（中国共産党）と<sup>しょうかいせき</sup>蔣介石（中国国民党）は日本に対抗するために抗日民族統一戦線を結成した。



▲毛沢東



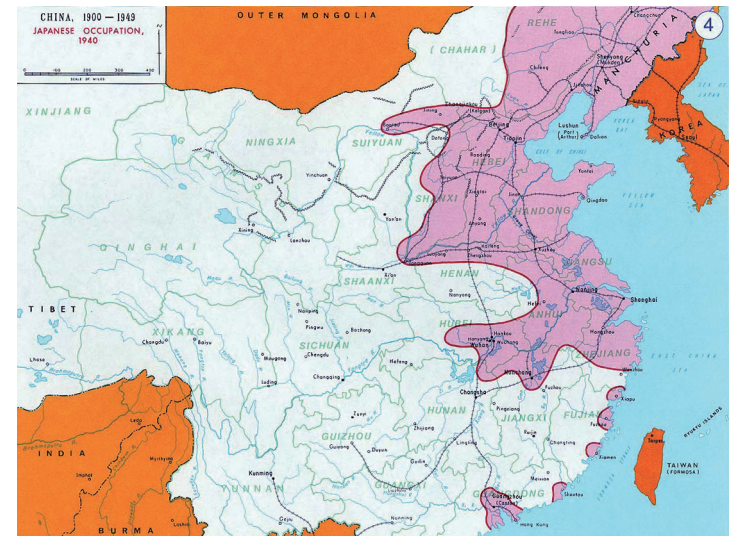
▲蔣介石

抗日民族統一戦線

VS



▲日本軍



▲日中戦争

## 一問一答

次の問いに答えなさい。

ろこうきょう  
盧溝橋での武力衝突をきっかけにして始まった日本と中国の戦争をなんというか。

日中戦争

# 国民の戦争動員

## ■強まる戦時体制

戦争が長引くにつれて、日本政府は国民を戦争に動員する戦時体制を強めていった。

⇒① **国家総動員法**（1938年）：国民を戦争に動員し、資源や物資などを統制する法律。

② <sup>たいせいよくさんかい</sup>**大政翼賛会**（1940年）：国民を戦争に動員する機関。



◀ポスターでの呼びかけ①



◀ポスターでの呼びかけ②



◀ポスターでの呼びかけ③

## 一問一答

次の問いに答えなさい。

1938年、国民を戦争に動員し、資源や物資などを統制するために制定された法律をなんというか。

国家総動員法